



末廣倶楽部のみなさん

Contents

<重要な文化財を守り、伝える>
末廣倶楽部

<サポートセンターからのお知らせ>
みんなでボランティア体験！
ちょこっとセミナー
まちづくり交流会

<とみさとの魅力みつけた！>
根木名川

重要な文化財を守り、伝える

旧岩崎家末廣別邸が今年の4月26日から一般公開されています。その別邸がある旧岩崎久彌末廣農場別邸公園の景観保護活動に携わっている「末廣倶楽部」取材しました。

スタートは市のボランティア募集から

旧岩崎久彌末廣農場別邸公園（以下、別邸公園）は、四季折々の風景が訪れる人たちを優しく迎えてくれる、歴史を感じる公園です。

三菱社の3代目社長だった岩崎久彌氏が晩年を過ごしたところで、平成24年に、それまで維持管理をしていた三菱地所株式会社から富里市に寄附されました。別邸等建造物は耐震・耐火設計を取り入れた大変貴重なもので、翌年12月には国登録有形文化財に登録されました。

譲り受けてから3年ほどは、重要な文化財を守っていくために市の職員だけで整備をしていましたが、職員だけではとても立ち行かずボランティアを募集。37人の市民から手が上がり、一緒に整備を進めていきました。

その後、ボランティアの方たちに担当課から、ぜひとも団体として活動をしてほしいという要請があり、平成28年3月、「末廣倶楽部」が誕生しました。

今では、季節ごとにツツジやアジサイ、もみじが彩る別邸公園も、譲り受けた当時はかなり手を加えなければならぬ状態だったようです。太い竹が生い茂り陽の光がほとんど差し込まず、脇の道を走る車の音も聞こえなかったとか。イタチや野ウサギが棲む、今では想像もつかない別世界でした。



アジサイ



野菜苗のポット詰め



芝生の雑草除去

作業に悪戦苦闘

整備を始めてから数年はひたすら竹を伐り、その後は、地中の根っこを手作業で掘り起こしていきました。地中にはびこった太い根に相当苦労したようです。

悪戦苦闘の作業の末、ようやく陽が当たるようになり、当初、木に覆われて存在が分からなかった石蔵も姿を現しました。

数年前までは、別邸主屋をホウキで掃いたり床や窓を磨いたりということも、市の職員と協力して末廣倶楽部もやっていました。外周全面に用いられているガラス障子のガラスは大変貴重なもので、割らないように大変気を遣ったそうです。軒下のクモの巣を取ったり、雨どい（現在は取り外されています）に溜まった土埃やごみを取ったりしたこともあったとか。

サポートセンターからのお知らせ



ボランティア はじめの一步

「みんなでボランティア体験！」 始まります！

魅力あるまちづくりのために頑張っている市民活動団体の活動を体験してみませんか！
高齢者福祉、里山保全、健康推進、役立つポスター作りなど
興味があること、気になる活動があったら、ぜひ、ご参加ください♪

昨年の
体験の
様子



詳しくはこちらから

やりがいを感じる時

現在、正会員が14人、賛助会員が19人で、毎週火・木曜日に活動しています。一般公開に向けての動きの中で、別邸内は市が受け持ち、庭園を市の指示に沿って整備するようになりました。草木の苗の植え替えや落ち葉掃き、外来種の草の除去など作業は多岐にわたります。また、整備の範囲は徐々に広がっているようで、限られた人数での作業はなかなか大変だとか。

大変な中でも、「あちこち花が咲いてくると、やっていて良かったなって思うよね」「やり始めるともっときれいにしたいって思うし、やるだけ成果が見えるからね」とメンバーの方は、それぞれやりがいを感じながら作業を進めています。休憩時にはお茶菓子をつまみながらおしゃべりに花が咲き、和やかで楽しい時間が流れ、更なるやりがいに繋がっているようです。

また、年2回の市の担当課との研修会で市の方針や今後の計画について話を聞いたり、主屋の改修工事後の見学会をしたりして、知識を深めていきました。



外来種雑草の除去

後世につなぐ

末廣倶楽部では、生涯学習課が小学4年生から6年生を対象にさまざまな体験活動を行っている「とみっこ大学」の一コマを担当しています。別邸公園で竹ポックリや紙鉄砲などの昔遊びに親しんだり案山子作りをしたりしながら、子どもたちに岩崎久彌氏の功績を伝えることも大切な活動の一つです。

また、とみちゃん秋まつりの一環として行われる「とみさと市民活動フェスタ」でも、多くの来場者に写真等を使いながら、別邸公園の文化的価値や久彌氏が残した数々の功績について伝えています。

「別邸は、豪華ではないけれど細かいところに気遣いがあって、職人の技術が生かされているんだよね。大正から昭和にかけての和風建築で、100年過ぎてもこうして大切に保存されている。そのことを地元の人に知ってもらいたいし、後世に伝えていきたいね」と会長の青柳さんは語ります。

また、「子どもや高齢者が気軽に遊びに来てくれるところになったら嬉しい。交流の場になるといいね」とも。

旧岩崎久彌末廣農場別邸公園が、多くの市民が訪れ、親しみのある公園になるよう、整備作業は続きます。

別邸公園について
詳しくはこちらから



サポートセンターからのお知らせ

コーディネーターの
ちょこっとセミナー

両日とも
参加費無料・定員5名

「Canvaで伝えるチラシ作り」

日時：7月22日（火） 10時～12時
持ち物：パソコン

「インスタグラムの運用でファンを増やそう！」

日時：9月25日（木） 14時～16時
持ち物：スマートフォン

意見交換
情報交換の場

「まちづくり交流会」

様々な分野で活動している人たちの交流の場です。
新たな出会いが新たな活動へ！

日時：10月11日（土） 14時～16時
場所：とみさと市民活動サポートセンター
参加費：無料
定員：15名
持ち物：（あれば）団体PRチラシ、イベントチラシ

とみさとの魅力み一つけた！

富里の魅力ある「人」「場所」「文化」などにスポットを当てて紹介していきます。



ふれあい水鳥の池



末廣別邸公園北側の谷津

富里の農業を支える根木名川

「根木名川」は富里市の中心部から利根川へと流れる河川であり、農業が盛んな地域であることから、地元農家の方たちにとって重要な川となっています。実際に川沿いの中流から上流域を散策したところ、根木名川周辺には田園風景が広がっていました。

富里市内の農地には、根木名川から分岐する用水路や排水路が整備されており、農家はこれを活用して水田や畑に必要な水を引き、土地を潤しています。特に夏場の水の確保は、根木名川が存在が欠かせないようです。

根木名川の水源

根木名川は複数の水源から流れ出す水によって形成されており、その主な水源となっているのが、富里市の南部にあります。この水源は、富里中央公園にある「ふれあい水鳥の池」に流れ着き、根木名川へと流れ

ています。航空写真や地形マップで周辺を確認すると南側の住宅地から公園へと、水が流れているのであろう地形を見ることができます。また、ふれあい水鳥の池は元々人工的に作られた溜め池だったらしく、後から公園の水鳥の池として整備され作り直されたそうです。

もう一つの水源として「旧岩崎久彌末廣農場別邸公園」の北側にある谷津があげられます。このあたりは、周囲を林に囲まれた細長い谷状の地形で、林にしみ込んだ雨水が湧き水となっており、その水が根木名川の水源となっています。

この谷津を整備している団体の代表は「自然豊かな地形によって水が浄化され、きれいな水が根木名川へと流れています。近年、コンクリート製のグレーインフラが増加していますが、末廣の谷津のような緑豊かなグリーンインフラも大切なのです」と自然環境が持つ機能について語っていました。

富里の豊かな自然によって浄化された水が源流をなす根木名川。田んぼの移り変わる姿、土手の草花を眺めながら散策してみたいはいかがでしょうか。

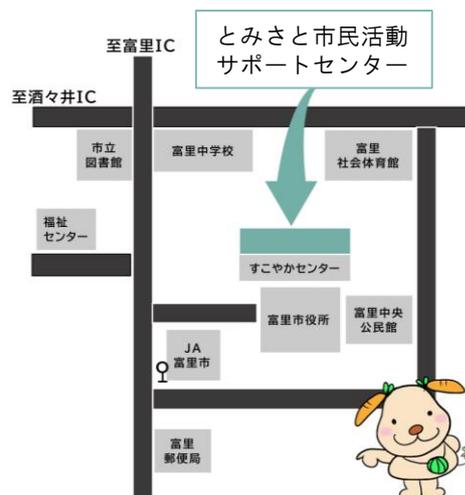


根木名川と密接な関係にある富里の農業

コーディネーターのひとりごと

今年もまた、とても暑い季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。年々気温が上がり、ゲリラ豪雨などの予期せぬ天候に見舞われることもあります。体を壊さないよう体調管理に気をつけて、今年の夏も頑張ってみましょう！（カワ）

SNSアカウント



<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1(富里市役所 すこやかセンター1階)
■Tel/Fax:0476-93-4123 ■E:tomisapo@bz04.plala.or.jp
登録団体数：94団体（7月1日現在）
年3回発行 発行部数：2500部 配布先：市内公共施設 他